

《担当者名》教授 / 吉村 昭毅 教授 / 村井 毅 准教授 / 北浦 廣剛 准教授 / 佐藤 浩輔 講師 / 佐々木 隆浩

【概要】

先天性代謝異常症、酵素分子設計、核医学診断薬剤などに関する文献の抄読を中心とした演習を通して、生命物理科学特論の講義内容についてさらに理解を深める。

【学修目標】

- ・胆汁酸の体内動態並びに先天性胆汁酸生成異常症の基礎について説明できる。
- ・異常胆汁酸を指標とする先天性胆汁酸生成異常症の診断法開発について説明できる。
- ・核医学診断薬剤（特に腫瘍診断薬剤、心機能診断薬剤および脳機能診断薬剤）に関する最近の文献を抄読し、放射性医薬品開発について説明できる。
- ・酵素阻害効果の検定、構造-活性相関などに関する最近の文献を抄読し、酵素分子設計に関する先端的知識を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	胆汁酸の体内動態	・胆汁酸の体内動態について説明できる。 ・胆汁酸の生合成機構について説明できる。	佐々木 隆浩
3) 5	先天性胆汁酸生成異常症	・各種先天性胆汁酸生成異常症に関連する異常胆汁酸について説明できる。 ・各種先天性胆汁酸生成異常症について説明できる。	村井 毅
6) 7	核医学腫瘍診断薬剤	腫瘍の画像診断における標的分子と放射性薬剤の集積機序、適用について説明できる。	北浦 廣剛
8	核医学心機能診断薬剤	心疾患の画像診断における放射性薬剤の集積機序と心機能の評価について説明できる。	北浦 廣剛
9) 10	核医学脳機能診断薬剤	脳疾患の画像診断における放射性薬剤の集積機序と脳機能の評価について説明できる。	北浦 廣剛
11) 12	酵素阻害効果の評価	酵素阻害効果の評価法に関する論文を抄読する。	吉村 昭毅
13) 15	構造-活性相関	薬物と生体分子の構造-活性相関に関する論文を抄読する。	佐藤 浩輔

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

受講態度（20%）とレポートの評価（80%）により成績を評価する。

【教科書】

配布プリント

【学修の準備】

- ・配布プリントを予習しておくこと（60分）。
- ・講義終了後、プリント・講義メモを活用し、理解を深めておくこと（30分）。